

令和4年度第43回
東京都トラック協会ドライバー・コンテスト
学科競技問題

【出題内容】

- I 法規：問1～問40
- II 構造機能：問41～問60
- III 運転常識：問61～問80

競技上の注意

この競技は、運転者に必要な関係法規やプロとしての一般的な知識について試問するものです。出題される法令問題は、令和4年7月1日時点の現行の法令に基づき作成しています。

また、この試問は、11トン・4トン・2トン・女性およびトレーラ部門共通となっています。

注意事項

- ① 問題は全部で80問です。
- ② **制限時間は60分です。**
- ③ 解答はすべて別紙の解答用紙に、「正しい」と思うものについて、解答用紙の同じ問番号の枠内に「○」印を、「誤っている」と思うものについては「×」印を下記要領により記載すること。（四肢選択式問題は「○」のみの記載でよい）なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

《例》

【四肢択一式問題】

		選択肢			
問		1	2	3	4
1			○		
2				○	

【○×正誤式問題】

問	答
12	○
13	×
14	×

- ④ 解答用紙には鉛筆またはシャープペンを使用し、誤って記載した場合は、跡の残らないように消しゴムで消すこと。
- ⑤ 解答用紙には必ず競技部門、受験番号、氏名を記載すること。
- ⑥ **この問題用紙は競技開始の合図があるまで開けないこと。**
- ⑦ 印刷の不鮮明なところがあれば、着座のまま静かに手を挙げて係員に尋ねること。ただし、問題の内容に触れるものには回答しない。
- ⑧ 問題用紙にメモ、計算等を書き込んでも差し支えない。問題用紙は、学科競技時間終了後に選手が持ち帰ること。なお、学科競技時間中に問題用紙を教室外へ持ち出す行為は認めないものとする。
- ⑨ 競技開始30分経過後から退席することができる。退席可能時間になった際に係員より告知を行う。退席する場合、問題用紙は机の上に伏せて置いていき、解答用紙を壇上へ提出し、他の選手のじゃまにならないよう静かに退席すること。なお、一度退席した者については競技時間中の再入室は認めない。
- ⑩ 終了時間については、終了5分前に係員より予告を行う。

令和4年7月31日（日）

於 警視庁府中運転免許試験場

「いま」を支える。「みらい」をつくる。

I 法規

【4肢択一式問題】

問1. 道路交通法に定める停車及び駐車等についての記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄に「○」印を下さい。

- ア. 車両は、交差点の側端又は道路の曲がり角から5メートル以内の道路の部分においては、法令の規定若しくは警察官の命令により、または危険を防止するため一時停止する場合のほか、停車し、または駐車してはならない。
- イ. 車両は、踏切の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の道路の部分においては、法令の規定若しくは警察官の命令により、又は危険を防止するため一時停止する場合のほか、停車し、又は駐車してはならない。
- ウ. 車両は、人の乗降、貨物の積卸し、駐車または自動車の格納若しくは修理のため道路外に設けられた施設または場所の道路に接する自動車用の出入口から5メートル以内の道路の部分においては、駐車してはならない。
- エ. 車両は、法令の規定により駐車しようとする場合には、当該車両の右側の道路上に3メートル（道路標識等により距離が指定されているときは、その距離）以上の余地があれば駐車してもよい。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問2. 道路交通法に定める追い越し等についての記述のうち、誤っているものを1つ選び、
解答用紙の該当する欄に「○」印を下さい。

1. 車両は、法令の規定若しくは警察官の命令により、又は危険を防止するため、停止し、若しくは停止しようとして徐行している車両等に追いついたときは、その前方にある車両等の側方を通過して当該車両の前方に割り込み、又はその前方を横切ってはならない。
2. 車両は、他の車両を追い越そうとするときは、その追い越されようとする車両（以下「前車」という。）の右側を通行しなければならない。ただし、法令の規定により追い越しを禁止されていない場所において、前車が法令の規定により右折をするため道路の中央又は右側端によって通行しているときは、その左側を通行しなければならない。
3. 車両は、進路を変更した場合にその変更した後の進路と同一の進路を後方から進行してくる車両等の速度又は方向を急に變更させることとなるおそれがあるときは、進路を変更してはならない。
4. 車両は、法令に規定する優先道路を通行している場合における当該優先道路にある交差点を除き、交差点の手前の側端から前に30メートル以内の部分においては、他の車両（軽車両を除く。）を追い越そうとするときは、速やかに進路を変更しなければならない。

問3. 道路交通法に定める自動車の運転者の遵守事項及び故障場合の措置に関する記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄に「○」印を下さい。

ア. 車両等の運転者は、身体障害者用の車椅子が通行しているときは、その側方を離れて走行し、車椅子の通行を妨げないようにしなければならない。

イ. 車両の運転者は、児童、幼児等の乗降のため、道路運送車両の保安基準に関する規定に定める非常点滅表示灯をつけて停車している通学通園バスの側方を通過するときは、できる限り安全な速度と方法で進行しなければならない。

ウ. 運転免許（仮運転免許を除く。）を受けた者が自動車の運転に関し、当該自動車等の交通による人の死傷があった場合において、道路交通法第72条第1項前段の規定（交通事故があったときは、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない。）に違反したときは、その者が当該違反をしたときにおけるその者の所在地を管轄する都道府県公安委員会は、その者の運転免許を取り消すことができる。

エ. 自動車の運転者は、故障その他の理由により高速自動車国道等の本線車道若しくはこれに接する加速車線、減速車線もしくは登坂車線又はこれらに路肩若しくは路側帯において当該車両を運転することができなくなったときは、道路交通法施行令で定めるところにより、停止表示機材を後方から進行してくる自動車の運転者が見やすい位置に置いて、当該自動車が故障その他の理由により停止しているものであることを表示しなければならない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問4. 運転免許に関する次の1～4の記述のうち、誤っているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄に「○」印を下さい。

ア. 第一種の運転免許には、大型免許、中型免許、準中型免許、普通免許、大型特殊免許、小型特殊免許、大型二輪免許、普通二輪免許、原付免許、牽引免許がある。

イ. 準中型免許は20歳に満たない者は取得できない。

ウ. 普通免許を取得して1年を経過しなければ準中型免許は取得できない。

エ. 準中型免許を取得すれば最大積載量5トン未満までのトラックを運転できる。

1 一つ

2 二つ

3 三つ

4 四つ

【○×正誤式問題】

問5. 右の標識は、タイヤチェーンを着脱する場所を示している。



問6. 右の標識は、安全地帯を示しており、車両は進入してはならない。



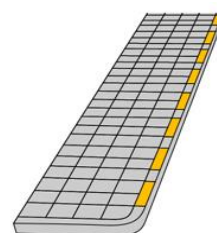
問7. 右の標識は環状交差点の入り口であることを示している。



問8. 右の標識は、指定された区間の最高速度が時速50Kmであることを示している。



問9. 右の道路表示（黄色の破線）がある場所では、駐車をしてはならない。



問10. 右の標識は、ここから先で幅員が減少することを示している。



- 問 1 1. 車両等は、交差点又はその直近で横断歩道の設けられていない場所において歩行者が道路を横断しているときは、その歩行者の通行を妨げてはならない。
- 問 1 2. 道路交通法における徐行の定義は、車両等が時速 15 km以下でゆるやかに走行することである。
- 問 1 3. 自動車の運転者は、他の車両を牽引する場合においては、牽引する自動車の前端から牽引される車両の後端（牽引される車両が二台のときは二台目の車両の後端）までの長さが 25メートルを超えることとなるときは、牽引をしてはならない。
- 問 1 4. 右または左へ車線変更をするときは、その行為をしようとする地点から 30メートル手前の地点から合図を開始する。
- 問 1 5. 車両は、一方通行路を運行するときでも、道路の中央から左の部分を通行しなければならない。
- 問 1 6. トンネルであっても、車両通行帯がある場合は駐停車できる。
- 問 1 7. 道路外施設に出入りするために歩道を横切るときは、歩行者がいない場合でも歩道の手前で一時停止する。
- 問 1 8. 貨物を積載している貨物自動車の場合は、貨物の看守に必要な最小限度の人員を荷台に乗車させることができる。
- 問 1 9. 道路交通法の規定では、走行中に携帯電話やスマートフォンなどの画像を注視することは禁止されているが、液晶の速度計の注視については禁止されていない。
- 問 2 0. 自動車（自動二輪車、小型特殊自動車を除く）に積載できる積載物の幅は、自動車の幅の 10分の 2の幅まで車体の左右にはみ出して積載することができる。ただし、自動車の左右の車体から自動車の幅の 10分の 1の幅を超えてはみ出してはならない。
- 問 2 1. 信号機のない横断歩道の手前の直前に停止車両があるときは、その前方に出る前に一時停止しなければならない。

- 問22. 高速自動車国道及び自動車専用道路以外の道路において、夜間以外の時間でも、濃霧などにより視界が50メートル以下となっている場所を通行する際は前照灯などの灯火類をつけなければならないが、当該場所に停車、または駐車する際はこの限りではない。
- 問23. 警音器は法令の規定により鳴らさなければならないこととされている場合が決められているため、危険を防止するためなどのやむを得ない場合であっても、規定の場所以外で鳴らしてはならない。
- 問24. 夜間、他の車両等と行き違う際、他の車両等の通行を妨害する目的でなければ、他の車両等の交通を妨げるおそれがあっても、灯火の光度を減ずるなどの灯火の操作は行わなくてもよい。
- 問25. 道路交通法における「駐車」とは、車両等が客待ち、荷待ち、貨物の積卸し、故障その他の理由により継続的に停止することと定義されているが、貨物の荷待ちのための停止で5分を超えない時間内のものは「駐車」ではなく「停止」となる。
- 問26. 三以上の車両通行帯が設けられている道路を通行する場合、その速度に応じて、もっとも右側を含む車両通行帯を通行することができる。
- 問27. 自動車の運転者は、運転中は座席ベルトの装着が義務づけられているため、いかなる場合においても座席ベルトを装着しないで自動車を運転する行為は違反となる。
- 問28. 自動車検査証の原本を紛失してしまったが、営業所にコピーが残っていたため、やむを得ず原本の代わりとして自動車に備え付け、運行を行った。
- 問29. 運行記録計を備えなければいけないとされている自動車については、運行記録計により記録された当該自動車に係る記録を三年間保存しなければならない。
- 問30. 路側帯とは歩行者及び自転車の通行の用に供し、又は車道の効用を保つため、歩道の設けられていない道路又は道路の歩道の設けられていない側の路端寄りに設けられた帯状の道路の部分で、道路標示によって区画された部分である。
- 問31. 車両等は、踏切を通過しようとするときは、信号機の表示する信号に従う場合でも必ず踏切の直前で一時停止しなければならない。

問 3 2. 安全地帯の側方を通過する場合において、安全地帯に歩行者がいるときは、徐行すること。

問 3 3. 火災報知器から 1 メートル以内の場所は駐車禁止である。

問 3 4. 交通事故が発生した際の警察官への報告義務のある事項には、車両の積載物も含まれる。

問 3 5. 追い越し禁止の道路標識があっても、軽車両は追い越すことができる。

問 3 6. 車両に積載している物が道路に転落・飛散した時は、直ちに道路管理者に連絡し、その指示のもと、転落・飛散した物を除去する等、道路における危険を防止しなければならない。

問 3 7. 車両は、道路の左側部分の幅員が 6 メートル未満の道路において他の車両を追い越す時は、道路の中央から右の部分にはみ出して通行できる。

問 3 8. 原動機付自転車を追い越そうとしている前車を追越すと「二重追越し」となり違反である。

問 3 9. 自動車は、本線車道に入ろうとする場合において、加速車線が設けられていても加速車線を通行しなくてよいが、本線車道を出ようとする場合においては、出口に接続する車両通行帯を通行するとともに、減速車線が設けられている場合はその減速車線を通行しなければならない。

問 4 0. 車両総重量が 2 トン以下の自動車を、その 3 倍以上の車両総重量の自動車で牽引するときの法定最高速度は 4 0 キロメートルである。

Ⅱ 機能構造（20問）

【4肢択一式問題】

問41. 道路運送車両の保安基準及びその細目を定める告示について次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄に「○」印を下さい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 貨物の運送の用に供する普通自動車であって、車両総重量が7トン以上のものの後面には、所定の後部反射器を備えるほか、反射光の光、明るさ等に関し告示で定める基準に適合する大型後部反射器を備えなければならない。
2. 自動車に備える事故自動緊急通報装置は、当該自動車が衝突等による衝撃を受ける事故が発生した場合において、その旨及び当該事故の概要を所定の場所に自動的かつ緊急に通報するものとして、機能、性能等に関し告示で定める基準に適合するものでなければならない。
3. 自動車（二輪自動車等を除く。）の空気入りゴムタイヤの接地部は滑り止めを施したものであり、滑り止めの溝は、空気入りゴムタイヤの接地部の全幅にわたり滑り止めのために施されている凹部（サイピング、プラットフォーム及びウエア・インジケータの部分を除く。）のいずれの部分においても1.6ミリメートル以上の深さを有すること。
4. 尾灯は、夜間にその後方200mの距離から点灯を確認できるものであり、かつ、その照射光線は、他の交通を妨げないものであること。

問42. 警音器に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄に「○」印を下さい。

1. 自動車（被牽引車を除く。）には、警音器を備えなければならない。
2. 自動車（緊急自動車を除く。）には、歩行者の通行その他の交通の危険を防止するため自動車が右左折、進路の変更若しくは後退するときその旨を歩行者等に警報するブザーなど法令で規定する装置を除いて、車外に音を発する装置であって警音器と紛らわしいものを備えてはならない。
3. 警音器の警報音発生装置は、運転者が運転者席において、その音の大きさ又は音色を容易に変化させることができるものであること。
4. 警音器の警報音発生装置の音は、自動的に断続するものでないこと。

問43. 事業用貨物自動車の日常点検に関する1～4の点検内容のうち、走行距離や運行時の状態等から判断した適切な時期に行うことで足りるものはいくつあるか。 解答用紙の該当する欄に「○」印を下さい。

ア. 冷却水の量が適当であること。

イ. ブレーキの液量が適当であること。

ウ. 駐車ブレーキ・レバーの引きしろが適当であること。

エ. タイヤの溝の深さが十分であること。

1 一つ

2 二つ

3 三つ

4 四つ

問44. 道路運送車両法で規定する「自動車」のうち、当てはまらないものを1つ選び、
解答用紙の該当する欄に「○」印を下さい。

1. 普通自動車
2. 大型自動車
3. 大型特殊自動車
4. 小型自動車

問45. 貨物の運送の用に供する自動車（三輪自動車、カタピラ及びびそりを有する軽自動車、被牽引自動車並びに車線逸脱警報装置を備えることができないものとして告示で定める自動車を除く。）であって車両総重量5トンを超えるものには、安全な運行を確保できるものとして、車線からの逸脱の検知及び警報に係る性能に関し告示で定める基準に適合する車線逸脱警報装置を備えなければならない。

問46. 自動車運送事業の用に供する自動車は、6か月ごとに国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。

問47. 貨物の運送の用に供する普通自動車であって、車両総重量が7トン以上または最大積載量が4トン以上（最高速度が90キロメートル毎時以下の自動車等を除く）のものは、速度抑制装置を備えなければならない。

問48. 自動車の後面に備える後部反射器は、被牽引自動車に備えるものを除き、反射部の形状が三角形以外でなければならない。

問49. 車両総重量とは、車両重量、最大積載量及び60キログラムに乗車定員を乗じて得た重量の総和をいう。

問50. 自動車の最小回転半径は、最外側のわだちについて12メートル以下でなければならない。

問51. 車両総重量が車両重量の1.2倍を超える自動車（二輪自動車および被牽引自動車を除く）の安定性については、空車状態において左側および右側にそれぞれ35度まで傾けた場合に転覆しないことが求められる。

問52. ナンバープレートには車両の用途を示すひらがなが一つ記されているが、事業用トラックに用いられるのは、「あいうえかきくけさしを」のうちいずれかである。

問53. 多くのトラックに用いられているディーゼルエンジンはガソリンエンジンと比べて熱効率がいが、ガソリンエンジンの熱効率が24～28%なのに対し、ディーゼルエンジンのそれは30～34%とされている。

問54. 天然ガスを燃料とする自動車のうち、液化天然ガスを使用するものはCNG車と呼ばれている。

問55. 近年開発・普及が進む電気自動車（EV車）は、電気だけで走行するので環境負荷が低く、燃料費が電気代だけのため軽油等に比べて安価であるのがメリットだが、その反面、航続走行距離や充電方法（充電スタンド等）に課題を残している。

問56. 自動車の前面ガラスに貼り付ける検査標章には、その自動車の自動車検査証と同一の有効期間が記されている。

問57. 自動車に備えなければならない非常信号用具は、夜間200mの距離から確認できる橙色の灯光を発するものでなければならない。

問58. 事業用貨物自動車の自動車検査証の有効期間はすべて1年間である。

問59. 日常点検の結果に基づいて運行の可否を判断するのは運行管理者である。

問60. エンジンオイルが劣化するとオイルの粘度が高くなり、エンジンを傷めるだけでなく燃費が悪化する。

Ⅲ 運転常識

【4肢択一式問題】

問61. 視覚の特性に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄に「○」印を下さい。

1. 高速になると視力が低下して、近くのもののははっきり見えても遠くのものはほとんど見えなくなる。
2. 明るさが急に変わると、視力は一時急激に低下する。
3. 疲労の影響は目に最も強く現れる。
4. 夜間は自転車と対向車のライトで、道路の中央付近の歩行者が見えなくなることがある。

問62. 次のア～エの記述のうち、事業用自動車の運転者が遵守すべき事項として、法令に定めのないものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄に「○」印を下さい。

ア. 事故を引き起こした場合は、その概要を運転者台帳に記載すること。

イ. 車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上の普通自動車である事業用自動車に乗務した場合にあっては、乗務等の記録に貨物の積載状況を記録すること。

ウ. 携行している運行指示書の記載事項に変更が生じた場合には、携行している運行指示書に当該変更の内容を記載すること。

エ. 点呼を受けたときには、点呼の日時や場所、報告事項や確認事項、指示内容その他の必要事項を点呼簿に記載すること。

1 一つ

2 二つ

3 三つ

4 四つ

問63.「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」(改善基準告示)に定める連続運転時間に関し、次のうち改善基準に違反しているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄に「○」印をなさい。

1

運転時間 4時間	休憩時間 30分	運転 再開
-------------	-------------	----------

2

運転時間 1時間	休憩時間 10分	運転時間 2時間	休憩時間 10分	運転時間 1時間	休憩時間 10分	運転 再開
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	----------

3

運転時間 3時間	休憩時間 20分	運転時間 1時間	休憩時間 10分	運転 再開
-------------	-------------	-------------	-------------	----------

4

運転時間 2時間	休憩時間 15分	運転時間 1時間	休憩時間 10分	運転時間 1時間	運転 再開
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	----------

休憩時間 5分

問64. 「過積載」に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。

解答用紙の該当する欄に「○」印をきなさい。

ア. 過積載をすると一般的に重心が低くなり、バランスを崩しやすくなるため、走行中の左右の揺れがひどくなり走行が不安定になる。

イ. 大型・中型・準中型車で10割以上の過積載運転を行うと、道路交通法の規定に基づき、違反点数が6点で、6ヶ月以下の懲役または10万円以下の罰金の処分の対象となる。

ウ. 過積載に対する罰則について、車両の使用者に対する罰則の規定はあるが、荷主に対する罰則は公安委員会や国土交通大臣からの勧告等も含めて、罰則の規定はない。

エ. 過積載で走行すると通常より重量が大きくなるため、ブレーキへの負担も通常より大きくなることから、ブレーキを多用する可能性も高まり、フェード現象が起こる可能性も高まる。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

【○×正誤式問題】

- 問65.** 標識や表示で指定のない自動車専用道路の最高速度は80キロである。
- 問66.** 大型・中型・準中型免許を取得するのに必要とされる視力は、両眼で0.8以上かつ、一眼でそれぞれ0.5以上である。
- 問67.** 空気圧が高すぎると、タイヤが波状に変形する「スタンディングウェーブ現象」の原因になる。
- 問68.** 自転車であれば、妨害運転（あおり運転）が適用されることはない。
- 問69.** 走行中にタイヤがパンクしたときは、ハンドルをしっかりと握り、車の方向を直すことに全力を傾ける。このとき同時にブレーキは目一杯踏み続ける。
- 問70.** 車の内輪差は大型車になるほど大きくなる。
- 問71.** 路面が雨に濡れ、タイヤがすり減っている場合の停止距離は、乾燥した路面でのタイヤの状態がよい場合に比べて1.2倍程度に延びることがある。
- 問72.** じゃり道は舗装道路に比べて摩擦力が高いので制動距離が短くなる。
- 問73.** アンチロックブレーキシステム（ABS）を備えた自動車をやむをえず急ブレーキをかける場合、システムを作動させるため一気に強く踏み込み、そのまま踏み込み続けることが必要である。
- 問74.** 運転時間は2日（始業時間から起算して48時間）を平均し、1日あたり9時間、2週間を平均し1週間あたり45時間を超えないものとする。
- 問75.** 黄色の灯火の点滅信号では、他の交通に注意して徐行しなければならない。
- 問76.** 前方の自動車を大型車と乗用車から同じ距離で見た場合、それぞれの視界や見え方が異なり、運転者席が高い位置にある大型車の場合は車間距離に余裕がないように感じ、乗用車の場合は車間距離に余裕があるように感じる。

問77. 60キロメートル毎時で走行中の自動車の2秒間の走行距離は、約33メートルである。

問78. 深夜業務に常時携わる運転者については、6か月に1回、医師による健康診断を行わなければならない。

問79. 舗装道路では雨が降っている最中より降り始めの方がスリップしやすい。

問80. 重大事故の原因ともなる睡眠障害のひとつ、“SAS”とは「睡眠不足症候群」の略称である。